

令和 6年度予算見積調書

課室名： 県土整備政策課
 担当名： 建設DX推進担当
 内線： 5199

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
P103	公共事業情報システム開発費		一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	公共事業情報システム維持管理費		
事業期間	平成13年度～	根拠法令	公共工事の品質確保に促進に関する法律第3条の11 公共工事の品質確保に促進に関する法律第7条の2		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 12, 17	
					分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 12-7, 17-14	
1 事業概要	公共事業情報システムを最適化することにより、建設行政の内部業務の適正化、省力化、効率化を図る。		5 事業説明						
	工事執行管理システム開発費 7,554千円		(1) 事業説明		工事執行管理システム開発費 7,554千円				
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業計画		令和6年度				
			ア 工事執行管理システムの機能維持		<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月にクライアントPCのOSであるWindows10がサポート期限を迎える。 このため工事執行管理システムのWindows11対応検証を令和6年度中に行う必要がある。 令和6年度中にWindows11対応検証を行うことで、改修が必要となった場合においてもサポート期限までに改修を行うことが出来る。 				
			イ 要領改定に伴う機能改修		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月1日付で埼玉県建築工事成績評定要領が改定された。 このため、速やかに工事成績評定機能を改修する必要がある。 				
3 地方財政措置の状況 なし			(3) 事業効果		<ul style="list-style-type: none"> 令和7年10月以降も工事執行管理システムが安定的に利用可能となり、効率的な建設事務が継続的に行える。 要領改定後もシステム上で自動的に評定計算が行えるため、ミスなく、効率的に建設事務を行える。 				
			【活動指標】		<ul style="list-style-type: none"> 安定的なシステム稼働 新建築工事評定要領に対応したシステムの動作 				
			【成果指標】		<ul style="list-style-type: none"> 安定的にシステムを運用することで設計書情報提供システムが継続利用できる 事務処理の効率化による現場巡視や県民対応の時間を確保でき、県民対応における質の向上 				
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
(1) 事業にかかる人件費	9,500千円×0.5人=4,750千円								
(2) 組織の新設、改廃及び増員	なし								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	7,554						7,554	△2,791	
前年額	10,345						10,345		

事業内訳書

事業名	公共事業情報システム開発費		
単位事業名	工事執行管理システム開発費	予算額	7,554千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	7,554	△2,791	
合計	7,554	△2,791	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	7,554	△2,791	Windows11対応、成績評価システム改修等 7,554千円
合計	7,554	△2,791	